



## 守り ☆ 育て ☆ 創る

～新たな文化芸術を～



文化芸術について語る高嶋館長

### 新春 対談

新しい年を迎え、昨年4月に文化の家館長に就任された高嶋隆明さんと文化の家フレンズの水野美々子会長が対談しました。

話題は文化芸術活動の拠点としての文化の家とフレンズの、現在とこれからの抱負、平成29年に予定されている文化の家改修工事についてなどです。

文化の家は平成10年から文化マスタープランにのっとり文化芸術の質の向上に力を入れています。私が就任してからも北海道や沖縄、大分など全国各地から視察がありますが、その時話すのはまずひとつはプランに基づいて事業展開していること、

**水野** 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。  
**高嶋** おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。  
**水野** 始めに文化の家館長に就任されまもなく一年になりますが、文化の家の印象や感想などを聞かせていただけますか。  
**高嶋** 私は建設部で長く仕事をしていた道路や施設建設などのハード面からまちづくりをしてきましたが、平成25年7月から文化部次長に就任して



フレンズについて語る水野会長

はじめて社会的な環境コミュニケーションの活動にかかわるようになりました。  
**水野** 文化の家は平成10年から文化マスタープランにのっとり文化芸術の質の向上に力を入れています。私が就任してからも北海道や沖縄、大分など全国各地から視察がありますが、その時話すのはまずひとつはプランに基づいて事業展開していること、

### 身近な生活の中に本物の芸術を

もうひとつはフレンズという組織の存在についてです。文化の家と両輪になって進めていると話すとき驚かれます。  
文化芸術の拠点として良いところは残し、もっと多くの市民の人たちと一緒に質の向上に取り組んで、それを守り育てながら創っていくことが大事だと考えています。  
**水野** 良いところを残しながら会館の威厳を保ちつつ多くの人が集まる場所でありたいですね。  
**高嶋** これから30年後50年後の文化芸術の活動はどうなっていくのかと考えることがあります。  
**水野** 日常生活とのかかわりが切り離せないと思うのですが。



機関紙部員も交えて楽しく懇談が進みました

一緒に活動することを誇りに思っています。

**水野** ありがとうございます。私たちが胸を張って文化の家で活動をしていますと言えるように、さらに研さんを積まなくてはいけませんね。

館長は音楽や絵画など何がお好きですか。

**高嶋** 私は楽器が弾けないので音楽が好きですね。文化の家のホールで聴いたオーケストラの生演奏がとても良かったですね。就任してから演劇なども観るようになりました。自分でチケットを買ってサクスのクリ

スマスコンサートにもいきました。

映画も好きで中学、高校の時はよく観ました。

**水野** 昔は映画鑑賞会っていうのがあって、一番覚えてるのが「ロミオとジュリエット」です。文化の家では映画鑑賞にも力を入れていて来館される人も増えているみたいです。

**高嶋** やっぱ懐かしい昔の映画を多くやってほしいですね。

### 改修工事について

**水野** そうですね。市民にも会館に親しんでもらいたいのですが、来年は改修工事に入るそうです。

**高嶋** 平成29年2月から改修工事に入り6月頃完了の予定です。

**水野** 会場案内などをしていて危険を感じるころや不便な所もあります。その辺の改善はどうですか。

**高嶋** 観客の安全面を考えた改修計画で、ホール内には手すりをつけることになっていきますので安全に階段を下りることができるようになります。また車椅子の方が他の方と同じように鑑賞される環境もきちんと確保できるようにしたいと思います。

フレンズスタッフはいつもホールで活動をしていて利用者の情報をよく知っているの、その情報を交換

## 文化の家 大規模改修工事のお知らせ

文化の家は、開館してから今年で18年目を迎えました。施設が老朽化し舞台機構などに不具合が生じてきていることから、利用制限を伴う大規模な改修工事を予定しております。

文化の家ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 【工事期間】

平成29年2月1日～平成29年6月末（予定）

### 【利用制限】

工事期間中は、ホール及びアトリビングといった、すべての部屋が利用不可（予定）になります。

※ 詳細につきましては、文化の家ホームページをご覧ください。



してお互いに共通認識を持ち対応できるように、フレンズと職員の情報交換の場があるといいですね。

### 18年目のフレンズ

**水野** フレンズスタッフの活動も18年目に入りましたが自然の流れの中で新陳代謝ができていて若い人も参加しています。現在フレンズ会員は約470人でスタッフは50人程です。

**高嶋** 新しい人にフレンズの活動に興味を持っていただき、役割があり、やりがいを感じてもらえれば若い人たちが育っていき、社会環境が成熟

していく気がします。

**水野** みんなは認められるとより一層頑張るので館長からも声をかけて下さい。

**高嶋** はい、これからもっと声をかけます。（笑）

**水野** 都市環境、自然環境、社会環境のバランスのとれたまちづくりを目指し、楽しいリビングタウンにしていきたいですね。もっと市民の生活レベルまで文化芸術を高めたいと思いますのでよろしくお願いします。

**水野** これからもがんばって活動を続けたいと思います。今日は長時間ありがとうございました。



# デュエットの世界にようこそ



加藤華奈子さん 毛利さんご夫妻



2015年12月12日 文化の家 舞踊室にて

小春日和の12月12日に、フレンズのつどい Part 34が開催されました。

毛利和雄さん、美奈子さんのご夫婦ならではの息の合った素晴らしいデュエット。それに笑いを誘う巧みな話術に会場はお二人の世界に引き込まれていきました。和雄さんのリードで、会場の皆さんと一緒に掛け合いで歌い、体を動かし、心も踊り、会場は生き生きと明るいムードに包まれました。また、声楽家だけでなく和雄さんの器用な一面も紹介されるなどご夫妻を身近に感じました。

第一部にひきつづき、二部はティーパーティーで交流の場へと会場は変わり、新旧フレンズ

の同窓会のように皆さん久しぶりの再会を懐かしがられたり、フレンズ会員だけでなく、どなたも笑顔で語らい楽しい交流の場となりました。今年のクリスマスのおつどいも、皆様に満足していただけるようスタッフ一同、良い企画をご用意してお越しをお待ちしております。

## 会場の皆様の声

- ◎戦後、娘時代に日本語で「椿姫」を歌ったことを懐かしく思い出し、毛利先生とお話して来ました。
- ◎初めて参加しました。こんなに楽しく気楽な音楽会は初めてです。
- ◎とてもいい時間が持てました。息づかいを感じられる距離でソリストが聴けました。
- ◎デュエットが良かった。ご夫妻の人となりがよく伝わりました。お話しが楽しかった。



お楽しみ抽選会！  
当たり？



第二部 交流の場 パーティー会場  
ケーキ代わりの大きなメロンパン！

## 新 企 画



### 「真菜」って？

お正月には、みなさんの家庭でそれぞれの「ふるさと」のお雑煮を作られたことと思いますが、長久手の伝統的なお雑煮はご存知でしょうか？

それは「真菜(まな)」とお餅だけの、質素なお雑煮です。真菜はアブラナ科の葉もの野菜。昔から長久手市で「餅菜」として食べられてきた「伝統野菜」です。

長久手市では真菜の普及に取り組んでおり、市役所の産業課で種を配布したり、学校給食では年に1回、真菜の出回る時期にもやしなどと混ぜたおひたしの献立が用意されます。また、12月ごろから、あぐりん村で販売しています。

長久手の大切な食文化としての真菜を、お料理のレパートリーに加えてみてはいかがでしょうか。

### 真菜を使ったお雑煮の作り方

- ①鰹節のだしですまし汁を作る。
- ②一口大に切った真菜を入れる。
- ③焼いてないお餅を入れて、お餅が柔らかくなるまで煮る。
- ④お椀に盛り付けたら鰹節を散らす。  
真菜はくせのない味なので、とても食べやすいです。



真菜のお雑煮



葉の切り込みが特徴

# おすすめ公演!

文化の家 生田さん のチェックポイント!

ピアノの佐藤允彦さんは、2000年「トリプルピアノ」以来の長久手での演奏です。日本JAZZ界のけん引役として活躍されていると共に、知性派としても良く知られ、あらゆるジャズをやり尽くしてきたジャズ界の巨匠。テナーサックスの峰厚介さんは、1993年スイングジャーナル誌日本ジャズ賞受賞。日米での演奏など活動多彩。

お互いに人間的にも信頼し合う仲である2人の演奏は「これぞJAZZ」を聞かせてくれること間違いなし!!

又、即興演奏で観客とどのような会話を交わすかも楽しみです。

家族みんなで楽しめる

## 「はいだしょうこ ファミリーコンサート」

2月6日(土) 11時開演  
森のホール

NHK「おかあさんといっしょ」第19代うたのおねえさんとして、不動の人気を得て活躍中のはいだしょうこさん。



土曜日のひとときを、小さいお子さんがいる方、いない方、みなさんご家族でお楽しみいただけます。

2歳以下無料  
(ひざ上観賞に限り)

## ひとりごと

子どもと同時に、母たちも!と始めた書道。いつの間にかお菓子を持ち寄り茶話会のよう。だから続いているのかな?

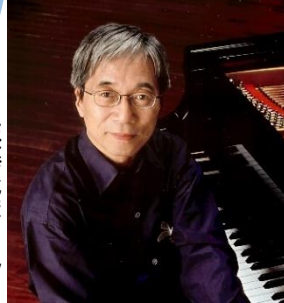
今年こそ書道の上達を目指そうっと! (㊦)

## 「JAZZ 長久手」

円熟のデュオ 佐藤允彦 (Piano)  
峰 厚介 (Tenor Sax)  
2月19日(金) 19時開演  
風のホール

信頼し合う2人の  
「これぞJAZZ」

佐藤允彦さん



峰厚介さん



※公演の詳細は文化の家チラシまたはホームページをご覧ください。

## 幸せの絆



勝手にすパーす

長久手市在住 渡辺 聖司

昨年9月、中秋の名月とスーパームーンが重なる27日、町内ではそれぞれの玄関の前にすすきを飾り、お菓子を山のようにお供えしてお月見どろぼうを行いました。時間になると、小学生以下の子どもたちが、どろぼうで盗んでいった。桜作の24軒が参加したイベントですが、子どもたちは大喜びで、あとで感想を聞いたら、むちゃくちゃに楽しかった、こんなことやってほしかったんだって言うていた。

住んでいる地区が文化の面で深まり、町内では世代を越えて話せるようになりかけている。万博を経験したあとの長久手は豊かに育っていると実感しています。

